

(特非) ICA 文化事業協会

ケニア北部ロヤングラニ地区における 半砂漠地帯での植林緑化活動

イベントの 延べ参加者数	880 人
イベント参加者 の満足度	80%
活動の全体目標 に対する達成度	60%



コミュニティ開発ワークショップ

◆成果と工夫したポイント

- **成果** ・ 植樹した苗木の約 80% が活着し、順調に生育している。
・ 住民の 80% 以上が植林の意義を理解した。
・ 女性参加が活発になるような目標を設定したことで、地域住民（特に女性）が積極的に活動に参加した。
- **工夫** アルガラバを柵として利用し家畜食害を防いだ。また、地域の課題について話し合い、解決する体制をとった。

課 題

2007 年の大干ばつ以降、水と食糧不足に陥っているケニア北部ロヤングラニ地区で、植林活動を実施することで、半砂漠地域の緑化活動を推進し、生活環境の改善を図る。

活動内容

- ・ ロヤングラニ地区の 7ヶ所で、砂漠地帯でも生育出来る苗木約 3,000 本の植樹を行った。
- ・ 植林緑化活動の持続発展につなげるために、住民、地域団体、学校に地域開発と環境教育研修を実施し、この地域に住む 6 部族が団結して、目標を達成する活動体制の構築と、環境保護への知識の増大を図った。



苗木を育てる親子

今後の課題

オアシス保護のために植林とフェンスづくり、育苗場の拡大、太陽光による貯水タンクの設置、植林用の給水設備。